

迅速な救助を目指して

石岡消防で交通救助訓練実施



12月16・17日の2日間、柏原分署にて松本充夫隊長率いる石岡消防特別救助隊28名による交通救助訓練が実施されました。

当日は、消防資機材を扱う帝商株式会社（東京都）の職員2名をアドバイザーとして迎え、機材の効果的な使い方や、使用の際の注意点などの説明を聞いた後、機材を使って訓練を行いました。

この訓練は、実際の交通事故現場を想定し、事故車両を使用して、破片が飛び散らないよう窓ガラスを割ったり、事故の衝撃で歪んだドアを機材を使って解放したりして、要救助者を助ける目的で行われます。隊員は、互いに声を掛け合い、一つの動作を確認していました。

車社会の今、救助出動件数の多くが交通事故（左ページ参照）。

松本隊長は「現場では、安全で迅速な救助が求められます。素早く判断し、いかに効率よく救助できるかが、人の命を救います。日々の訓練がとても大切なんです」と話しました。



＼定期的な点検をお忘れなく！／

あなたの家の火災警報器

きちんと作動しますか？



住宅用火災警報器の設置が義務化されてからまもなく 10 年が経ちます。皆様のご家庭では定期的に点検していますか？内蔵されているリチウム電池の寿命は 10 年とされています。いざという時に作動しない、なんてことがないように、定期的に点検し正常に作動するか確認しましょう。

消防本部 予防課 TEL 23-0119

令和 2 年 石岡市の火災・救急・救助の件数

消防本部 警防課 TEL 23-0119

>> 救急件数は 499 件減少

件名	件数	
	R2	前年比
救急出動件数	3,219	▲ 499
救急搬送件数	2,874	▲ 453
不搬送件数	345	▲ 46
搬送人員	2,899	▲ 458

>> 火災件数は 5 件増加

▶令和 2 年中に発生した火災件数は 31 件で、前年の 26 件に比べると 5 件増加しています。うち、建物火災は 16 件です。

出火原因は、たき火の不始末やガスコンロの消し忘れのほか放火の疑いがある出火もありました。放火を防ぐためにも、家の周りにごみや段ボールなどを置かないようにしましょう。

火災の種類	件数		損害額 (千円)	
	R2	前年比	R2	前年比
建物火災	16	0	46,981	▲ 22,348
林野火災	1	0	62	▲ 2
車両火災	6	4	315	▲ 2,127
その他	8	1	25	21
計	31	5	47,383	▲ 24,456



一人ひとりの心がけで、災害は減らせます。自分自身と大切な家族を守るために、日頃から防災を考え、備えましょう！

▲レスキュー隊 松本隊長

>> 救助件数は 4 件増加



▶救助出動件数は 53 件で、前年と比較すると 4 件増加しました。

近年では異常気象による大雨で、道路冠水や川の氾濫など、災害が多く発生しています。消防署では水難救助資器材を整備して水難事故に備えています。

		交通事故	火災	ガス酸欠	水難事故	機械事故	その他	合計
		出動件数	R2	23	9	2	0	0
	前年比	1	4	▲ 1	▲ 2	0	2	4
救出人員	R2	7	3	1	0	0	13	24
	前年比	▲ 9	2	▲ 2	0	0	4	▲ 5